

—小川未明生誕140周年—

今こそ知りたい!

未明文学のユビキミ



児童文学者である小川未明は、明治15年（1882年）4月7日に上越市高田五分一町（現在の幸町）で生まれました。やがて父親が上杉謙信公をまつる春日山神社を造り、その宮司となったため、未明も春日山に移り住みます。その後は勉強のため上京し、小説や童話を書きました。その数は、童話だけでも約1200編に及びます。

01 日本のアンデルセンと呼ばれるワケ

アンデルセンは、世界中で作品が読まれているデンマークの童話作家です。未明が「日本のアンデルセン」と呼ばれる1番の理由は「国民に愛された童話作家」であることでしょう。そのほかにも、例えば「グリム童話」のように民話などを編集したものではなく、創作童話を書いたことのほか、アンデルセンの作品「マッチ売りの少女」や「みにくいアヒルの子」のように、社会的弱者に寄り添う目線を持っていたことなど、多くの共通点が挙げられます。

私がご紹介
します!

文化振興課
上村 聡子学芸員

02 未明文学、3つの特徴

今なお愛される作品

令和の時代になっても新しい本が出版され、読み継がれています。

『月夜とめがね』
げみ/絵 立東舎
2019年



ふるさとの影響

未明の作品は、生まれ育った上越の自然が影響していると言われますが、実は未明の童話には具体的な地名は出てきません。しかし、中には上越を舞台にしていると考えられる作品もあります。

『牛女』の雪形
作中に出てくる、
母親の姿をした雪
形(*)は、南葉山
の雪形がモデルだ
とされています。



南葉山

*山肌の残雪や岩肌が
織りなす模様

生涯に残した多くの作品

童話作家として知られる未明ですが、もともとは小説家として文壇にデビューし、約650もの小説を書きました。また、50年の作家生活で、童話が約1,200、随筆や評論も約1,000点に及びます。多作と言われるアンデルセンが書いた童話が生涯で約170作品だったことから、未明が多くの作品を生み出していることが伺えます。

未明はどんな人だった?

- ①背が高い! (180cm)
大勢の人の中でも頭1つ分抜けて見えたそうです。
- ②せっかち!
友人との会食で、自分が食べ終わると帰ってしまうことも。
- ③お風呂が大好き!
銭湯の一番風呂が好きで、毎日のように通っていました。



03 未明を支えた文豪たち

中学からの友人



相馬 御風 (1883~1950)
童謡「春よ来い」作詞者。
糸魚川出身。高田中学で同じ文芸部に所属していました。交友は生涯続きました。

師匠



坪内 逍遙 (1859~1935)
シェイクスピアを日本に紹介。
未明は早稲田大学で逍遙に見出され、小説などを添削してもらいました。

師匠



坪田 譲治 (1890~1982)
早稲田大学在学中から未明に師事。未明・浜田広介とともに、「児童文学界の三種の神器」と言われました。

同志



誌名提案

鈴木 三重吉 (1882~1936)
童話雑誌「赤い鳥」創刊者。
未明は「赤い鳥」に多数の童話を発表しました。創刊時には誌名の相談にも乗りました。

04 作品紹介 — 未明童話の代表3作 —

未明について学習している上越教育大学附属中学校の3年生に、自身が見どころと感じたことやおすすめポイントを紹介してもらいました。

赤いろうそくと人魚

人魚の子どもを拾った、ろうそく屋の老夫婦。娘は美しく成長し、育ててもらった恩にと描いた絵ろうそくが、不思議な力があると評判になりました。

ある日、娘が人魚だと知った男がやってきて…



『赤いろうそくと人魚』
酒井 駒子/絵
偕成社 2002年



熊木 一朗さん

ハッピーエンドではない深みを味わえます

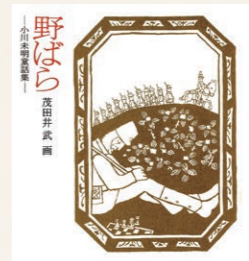
なぜ未明の代表作となりえたのか？

現実には起きないことや、存在しないものが描かれています。人が欲に負けた姿や悪いことをした顛末は、現代社会で生きる上での教訓だと私は思います。未明が時代を越えて、「人間の本质とは何か」、「人はどう生きるべきか」ということを、この作品を通じて語りかけてくれます。

野ばら

隣り合う2つの国の国境をそれぞれ守る老人と青年の兵士は、いつしか親しくなり、毎日将棋を指す仲となりました。やがて、2つの国が戦争を始め、

2人は敵同士となつてしまっています



『野ばら』
茂田井 武/絵
童心社 1982年



丸田 ひよりさん

今、世界中の大人に読んで欲しい童話です

象徴である野ばらと悪の中の絆

作中で描かれる野ばらは、心情を表すとともに死の伏線となっています。この作品は、ただの友情物語ではありません。友情が深まるとともに、戦争の虚しさを静かに表しています。戦時下でも友情は育まれます。未明が生きていた時代から現代へのメッセージと見ることができのではないのでしょうか。

月夜とめがね

月のきれいな晩、針仕事をしていたおばあさんのもとにやってきたのは、めがね売りでした。「なんでもよく見えることう

けあい」のめがねを掛けたおばあさんのところに訪れたのは…



『紙芝居 月夜とめがね』
諸橋 精光/絵
鈴木出版 2019年



小林 美結さん

月夜のようなきれいな心で満たされます

やさしい世界観

この作品の主題は「助け合うことの大切さ」だと思います。未明が生前にスペイン風邪にかかった経験が作品に表れているような気がします。コロナ禍の今、私たちに必要なのは人を思いやる心ではないでしょうか。未明のメッセージを受け取り、やさしさであふれる世界をみんなでつくっていきましょう。

05 小川未明文学館

未明の作品展示、生い立ちなどの紹介、未明の書斎を再現した部屋があるほか、「童話体験のひろば」では、代表作のアニメを上映することも、毎月第2・第4日曜日には「おはなし会」として、作品の読み語りを行なっています。

なお、小学生以下の皆さんには、未明童話の小冊子を毎月配布するほか、同時配布のシールを集めた人には、文学館のグッズをプレゼントしています。

「童話体験のひろば」で未明の世界を体感する上越市立高田幼稚園の園児の皆さん



小川未明文学館 (本城町8-30 高田図書館内)
▶開館…火曜～金曜日：午前10時～午後7時
土・日曜日・祝日：午前10時～午後6時
▶休館…月曜日 (祝日の場合は翌日)
▶入館料…無料
▶問合せ…025-523-1083
詳細は文学館ホームページをご覧ください



06 未明ボランティアネットワークの皆さん

未明ボランティアネットワークは、平成15年に発足した団体で、現在、25人で活動しています。

皆さんに未明文学のすばらしさを知ってもらおうと、文学館での「おはなし会」をはじめ、市内の小学校や放課後児童クラブなどに出向き「出張おはなし会」として、小川未明の紹介や未明童話の読み聞かせなどを、年50回程度実施しています。



未明ボランティアネットワーク代表 岡本 フミさん



放課後児童クラブでの「出張おはなし会」

文学館でのおはなし会は、子どもたちだけでなく、幅広い年代の人からお越しいただいていますので、ぜひ多くの皆さんからも聞きにきていただけたらと思います。会員も募集中です！

令和4年度に予定している生誕記念イベント

未明の顕彰活動などを行なっている市民団体「小川未明研究会」をはじめ、各団体が市が年間を通じてさまざまな記念事業を行います。詳しくは市ホームページでご紹介しています。



とき	ところ	内容
7月2日㊥	上越文化会館	小川未明顕彰フォーラム
10月～12月	小川未明文学館	小川未明生誕140周年記念展
11月26日㊥	上越文化会館	小川未明フェスティバル2022・関連イベント
12月17日㊥	オーレンプラザ	小川未明記念シンポジウム